



江 鴻
道 明 寺
東 方 朔
大 社
送 鋒

故
梅若誠
昭
梅若重
寄贈

江島



一面 笑尉
朝倉

- 一着附格子厚板
- 一水衣肩元
- 一厨腰带
- 一厨扇
- 一襟淺黄
- 一鈎竿肩元

後三 一面 玉鬘

- 一着附股厚板
- 一法被右肩
- 一赤頭唐織
- 一赤地金襴唐織
- 一赤頭
- 一五頭龍 同星
- 一折杖
- 一襟白

連 一 放髮

- 一着附龜腹厚板
- 一袴水衣肩元
- 一故腰帶
- 一白骨墨繪扇
- 一鈎竿肩元

天女 一面

- 一着附箔
- 一長絹舞衣
- 一大口
- 一腰帶
- 一鬘
- 一黑鬘
- 一鬘帶
- 一天冠
- 一黑骨丸紅扇
- 一玉金金玉七持

○後三 大飛出中 以時狩衣右着扇持神扇之

第一寸又

- 子方二人童子
- 一着附泊
- 一水衣
- 一腰帶
- 一黒袴
- 一黒頭
- 一黒骨扇

離子方地臨座付後見二人一臺持出跡ヲ後見二人
 三テ大宮ニ引廻シカケ持出一臺臺ヲ大小ノ前ニオキ其上江
 大宮ヲカク

一天女子方二人大宮門江入テ出也

一シシノセイ高砂ノ通り

一サシハ浦ノ者ヲカトワキ向 ワキ 一是ハ欽明天皇ニ

正面ハ垂ス 一扱ハ赤モ帝ヨリトワキ入

一柙ハ嶋ハト正面 一海底ヨリ塊似ヲワキ出スト

一ワキ 一カヒノノタト正面

連 一カヒノノタトワキ向

一各是ヲ衛護トシテツレ向合 一則江野ニテ

ラヘテ二人共ニワキ入 一江野島ト是ヲ申ヘトワキ入

ニ足 一謂ヲ受ハ有袴ヤト 二人共ニ正面

一中々ノ変ハ島ニトワキ入 一アカメモ猶餘リアリト

ニ足 一實有袴ヤト正面 。聲ガ松ノ風ノ音ト云向々マ 一治ニ御代トワキ入

一以時ヲニ足 一萬代ハト正面

連 一祈リオキト切ニ 苗座上ニ地臨前例ノ處

江行座付

一 今行未モト右ウケ 一 誓ハ尽又ト正面向テセシ

出 一 ウケツク國ソト開 一 善神ハ一切ノ福ヲ

サツケト角トリ 一 惡神ハト左廻リシテ柱ヲ見也ツカヘ行左廻リシテ柱ノ際ニテ

一天部ノ誓ヒカヤト口ニ開 一 頼メナヲト中へ行

一 女左トメ左ヲ出シテト居如ク玉モ曇ラシト下ニ居立 一 子細殘サス申

以トツテ釣竿ヲ捨正面向トクトト居腰ノ扇ヲ

正面向ナカラ扇ヌク又キテ右ニ持テ 後見出テ水衣ノ肩上ニテヲオロス

曲ノ前 曲ノ中 上ノ前 曲トメ 早ヘ向

〇意スルシニシテ一 夜スカラ度ニ待給ヘト早ヘ 一 初ニ應セシト正面向

〇天部ト支婦ノヨリヨキ一 龍ノヲ明神トハト早ヘ 一 老今見ルニト右ヲ引

居立 一 今厚ノ月ニト正面向テ立上リ

一 我姿ヲモト早ヘ 一 頭スヘシトニ足 一 夕波ニ

〇氣ハハツテ右ニ廻右ニ廻リシテ柱ノ際ニテ正面向テ引心ヲ内ヘトリ返シニ

ハツキリトノビ右トリ中入 ライ序 連モ入ル

一 間未社 兼アリ

一 間淋テ被ノツトサカス 波伯カ絶軌ト福也

天女一出羽不織阪 左被キサミノ中ヨリ月モ照ソル

演出ス

一十五童子 天部ノ由姿ト 後見 引廻トル

○一臺臺ノ上 大宮ノ内 中ニ天女カヲ桶ニ腰カケテ 手ノ盃ヲ持テ 子方テハ天女ノ左ニトテ居ル

一衆生 淋度ノ其由 方便トキ返シノ内ニ三人ナカラ五

一臺臺ヨリ向フオリ 三人並テ居ヨリガリル 一先福壽ハ満ノ願

ヲ叶ヘト 三人ナカラ正面ヘ必シ出テ足トメ

一現存 盆比樂ト 天女中口手ヘ向子方テ人ナカラ

左トリ 笛ノ上 地謡ノ前 例ノ處ヘ行角カケテ

向ニ人並ヒテトテ居ル

一曰云ラ又宝珠ヲ君ニ捧シト 弓前ヘ行トテ居立

手ノ盃ヲ弓ノ口ヘ渡シ 扇ヲ持テ立

一舞樂ヲ奏シト 右トリ 臺ノ前ヘ立返リナカラ

長絹ノ左右ノ端ヲトリ 正面向 舞衣ノ時ハ高ナキ 一羽袖ヲ

返シテト 正面ヘ定開 樂ヲ奏

一天人聖象ト 左右ニ出アトニ定リテサス開 一返シヨリ出カリヤト

思ヒト開 一立クル沖ニトシ 左方ヨリ右

廻心 横ニシテシテ 様方ヘ向 右ヲケシテ 様ノ側

ニテツメ也ノ 扇シテ開 幕ノ方ヲ見 早笛ニ

ナリテ左トリ扇タミナカラ子方ノ並ヒル

前へ行 正面角ノ方へ向シヤウキニカレ

天女
ハシ

後

一 早笛ニ段々幕上正面ラケ左ヲ引サシテ走り出

一 フ松ニテ用 一 龍ノ明神ナリト正面ニ足開

一 一歩シニカワラ又周位ノ形ト踊 一 一週位形ト正面

ニ足下トトリテ用 一 カラハ五頭龍ト杖ニテ頭

一 面ヲハツキリト上
一 フカシ胡髻舞ノアキトト杖ヲヨシ 一 一眼ニ白日ヲツキ
一 杖カクケル

○ 眼ニ白日ヲツキ又キト面ヲ進イナカラ正面ニ足出其身トサレ
又キ袖返シサシ分シテ右へ廻リ舞臺へ入シテ様

赤月

先ニテ 一 一敵々名上ニワト用 舞働 舞働ニ段目正面外ニツ

一 神佛水波ノ隔ナリト踊 一 返シニ角トリ 一 一回

一 舞ト左へ廻リ 一 舞々天部ハト 天女へ公子サシ用

一 下ニ居立 一 一絢儀カクキト面ヲサケル

一 天女 一 舞々天部ハ威光ヲ散シトシマウキヨリ立テ

シテ向ニ足程出シテ一同ニ下ニ居立

一 一絢儀カクキト面ヲ下ケ添正面へ元ノ如ク

一 白立イル 一 其時天部ハト云ヨリ出シ

一 虎ノ眼ノ光ト云付ヨリ出シテト
一 臺ノ間ヲ廻リ極セリへ行

出子方二人モ立天女浴ニツキテ行二人

ナカラ何更ナリ幕入

一 絢儀カキキト天女へ面ヲサケ其ニ右ヲ引テ正面へ向

一 岩間ヲツメヒト正面へ外シニツ 一 スミトルテフト立

正面へサシツメ右へ廻リ。臺ノ右ノ角ノアタリニテ正面へ向サマニ右
上リテ正面へ向ス

向 一 破ッウ波モツノト踊 一 明神タチマキト

右へ大ッウケテ出正面へ開左ノ袖ヲ頭ニカツキ。同付柱トシテ柱ノ中程ニテ

一 天地ニ満ミテリト面ツカヒ見 一 其時天部ハト袖モ

トシサシテ右へ廻リヤウシテ同付柱ノ方へ廻返リ下

居立。女杖逆ニツク 笛ノ方向 一 雲ノ上ニ踊レ縮ハト頭ヲ。炭ニテ左ノ袖ヲ頭ニカツキテモ

トリテ天女ノ橋カリへ行名ヲ見 一 明神立クル。雲ノ上ニ踊レ給ハト左ノ袖ヲ返シテ天女ノ方ヲ見テモ

立中へ行テ同付柱ノ方ヲ左ヲ引テ見込テ行

一 黒雲ニ乗シト左ノ袖返シ角へ入り込 一 光ヲ放テ

袖ヲハラヒテ左へ廻リ申シテ 一 廻リメクルヤトサシ分

シテワキノ前へ行左ノ袖巻シテ柱ノ方へ引其終

シテ柱ノ隙へ行小廻リ正面へ開左ノ袖返シ右ヲケ

ニ足出 踊ニツフミトメル 影向カナ

○ 狩衣着花時 メクリメクヤトサシ分シテ正面先へ出左右袖巻シテ柱ノ方へ小廻リト花

○私曰此カヤク眼ノ光ハ天地ニ満ミテリト云處
 田村天ニヒキ地ニヒキテ生田敦盛ノ天地ヲヒカシ
 ミチクナリト云類ハ他ヲ見テ云江島ハ我眼
 ノ光ヲ外ヨリ見名文ナレハ寔ニ面ヲ見
 ルハ自他相違ル也本ニヨリテ眼ノ光ハ四面へ
 開テ氣ヲ張ラテ立イテ外へ光ヲ見セル方可
 然ル依師命ニ治定也

道明寺

- 一面 小牛扇
- 一着附小格厚板前後
- 一水衣
- 一白大口
- 一扇髮
- 一純子腰帶
- 一鼻前扇手
- 一杖

○前世家来替
 春日龍神通三三也 但常不持

- 後シテ 一面 大惡扇
- 一着附色三厚板
- 一狩衣白
- 一半切
- 一綾紋腰帶
- 一鳥兜
- 一白岳
- 一白地金入鉢卷
- 一神扇

- 前連 一面 放髮
- 一着附龜扇青
- 一綉水衣
- 一白大口
- 一紋腰帶
- 一白鼻黒扇

- 天女 一面
- 一着附蒲
- 一長緋
- 一大口
- 一腰帶
- 一髮
- 一髮帶
- 一黒岳
- 一天冠
- 一黒鼻紅扇

一 脇能ノ時 尾次第ニ返

一 脇能ノ時 真ノ一セイ
末ノ能ノ時 一セイ半越

唯子方地謡座付テ後見作り物ヲ持出正面中先ニ置

一 一セイ脇能ノ如

一 以方更ニハカトワヘ向

一 曼ハ善光寺ト正面

一 不思議ナル事ヲワキ

一 心得ナルト云正面向ワキ

語叟居

一 カル有難キトワキ

一 カラハヒテ

此供中ハシト右ノ方ヘ向カハ脇正面見テ曼ニ神明ヲ

始メト謡 一 又は方ナルト見付栲方ヲ見

一 アレニ見ハル社ト作り物ヲ遠ク見能クハ拜ムトワキ向

一 有難ヤト正面

一 連
一 ウタテトワキ

○今在西方ト云面向スルマ

一 三世利益トワキ向佛トハトニ足出 一 唯曼ト正面

一 連
一 唯曼ト云ヨリ笛上地謡前例所へ行下居

一 神佛ト右ヲウケ 一 道明カニト正面ヘ向テ出

一 宮寺ソ貴キト開

開カズニ
ワキヘ向テモ

一 有難シトト角ツトリ
角ツトリ事ナク左地ヲモ

一 実神カモト左ヘ廻リ

一 拜ッテカケルトシテ柱ノ際ニテ

一 早へ用返シ早へ向トメクリノカ掛ノ内ニ立中へ行

下ニ居正面向杖捨前ニ立扇ヲ又イテ持

一 クリ前カ掛被サレ時ハ首カリケル返シヨリ立

中へ行下ニ居ルニ

曲ノ前 昭能時斗 曲ノ中 上ノ前 名トメ 早へ向

一 花サキナルト早へ 一 実ヤ花サキト正面

一 アノ梅ノト作り物ヲ見テ立 一 必授ヤサシトテト

早へ向 ニ定メ 一 カルトト 右へトリクワキシテ柱ノ

所ニテ足トメ 一 立トマリテトツテ返シ 一 我ハト

早へ向 一 名ヲ誰トカト出 一 神トカト用

一 翁艸ノト右廻リシテ柱ノ側ニテ正面へ用トメ

中入 ライ席 連モ入

一 間 末社 拜アリ

一 天女 一 出場ニ段橋カリ一ノ松アタリニテ正面へ

キヨト 久松ノ高直 足トメ 巫ニ舞臺へ入シテ柱ノキワニテ右

ウケ正面へ用 三段舞

一 舞樂ノヤクノト左右用 ○トニ足計 一 狂狂足ト

かテ用 一 夜更トサシテ左ノ方ヨリ右へ

廻ヤラニシテ行橋カリ方向右ヲヨケシテ

柱隊テ急ヒテ出トト幕ノ方見テ開

淫淋テ左トリ扇タニナカラ大小前へ行

正面向立居

三段舞ナキ時

今思おもト舞臺入シテ様先^{右ヲケナレ}テ正面へ開

舞樂マツク左右ナシ

夜ハ更行テトサシ扇ナシ左トリ右ハ廻ル

後^{シテ}
一イロ^{シテ}一段中テ幕上カ橋カリ一ノ松ニテ正面へ開演

天女

一常ノ燈^カタリト云時分正面へお其申

程ニテシテ方へ向イカニ白大夫ト謡

又脇正面方へハスミおテシテ向テモ

一カヤケルト左トリ前如ク大小お立イル

カリ吹トキハ開ナシ

一ホトキノ笛拍子ト正^カテ開樂舞

又

ウツモヨルモト左右落ヨトリナカラ右ハ出リ
右ヲヨケ正面へ開樂舞^カハ^カシテモ

但樂ノカリ吹時ハ^カ形ナシ開モナシ只

立タレテ居テカリ吹タチニ正面へ

ニ足おテ開ホヒト達舞シテ樂

カレ^カ

樂ノカリハニツカリ間ニ樂ニ並リテ

取部^カ如クナリツル^カ

但是ハ森田庄^カ笛吹方之余ハ可
ハ^カカ^カ

一樂如常初段迄舞初段ノ上扇シテ左トリ

扇タニナカラ笛上へ行目付柱ノ方向ト居

一作ハオモクト天女へ向 一天女ヤトヨ其後ト正面

一板ハ辞ストモト天女へ 一カヤケルト正面向切ヨリ

舞臺入シテ柱キワニテ足トメシヤウキニカリ天女ノ

舞ヲ見テ居

笏拍子ノ時ハシテ柱キワニ安座シテ扇ヲ前ヘサシ
フトコロヨリ笏拍子ヲ出シ友子ヲ持抄ス
笏拍子サヤウ傳受ス 昨傳ヲ受テスベキニ

一樂ノ初段ニ立扇ヒロケ去中へ行 初段ノアト左右

ノ所ヨリ舞ス如常 樂トメ太コヨリキサニ返シ

聲出テ唯今ト溜 一七徳サウシラ七拍子ト

○七徳サウシラト踊フニヒヤト左右ヘヨイシテト居礼スル如クモ

踊左ノリ込テ開ト居 一佛ヲ敬ヒト友子ヲ

ツキ頭モサゲ禮ヲシテ 一サスカヒナト立サシテ角ヲ

トリチ煉樂ト左廻リ 一込テテト中ニテトヲサシ

廻シ見テ開 一枕ハト左ヲケケ正面ヘ出左ノ袖ヲ

巻面ウツケテト居 一上ハタツトキト袖モトシテ

作り物ヲ見上進ニ立作り物ノおへ扇ヲ上ヨリオロシテ

カラ行 一梢ニカケリト兼込踊フニテ其身ヲ

一両爪ヲト友子ニテ作り物ヲアオクマラニツシテお開

一本ノ裏ヲト作り物ノお下ヲ見テト居サマニ扇ヲ平ラ

○左右ノ身ヲ

早ヨリかへ下ケルニ本ノ妻ヲスクヒ元マシニ
ニシテ左ノモリ丑本ノ妻ヲ集メ持タレ仕形

一 彼ンシマウニト早へ向其扇ヲか出スニ意味ニアタフル心

一 是ヨリト其ヲ下ケテ五角ツトリ足トス左へ廻リ

早ノおヨリサシテシテ柱ノ前ニテ正面へ開

一 道明寺ノか子トカノ字へ扇ト左ノおヨリ

一 ツ、ニニカクヲト 躰ニツフニ 左ノ袖返シ右へニ足お 躰

ニツフニトメ扇タニ入 カハニケリ

又 是ヨリト左へかろロキ 玉ヲツラヌクト左ノ袖ヲ返シ

早へ廻リ 數ハ百八トサシテ右へ廻リシテ柱ノキワニテ
正面へ開 祢日断 ぬ曼シテモ

又替 左ノ明寺ノか子ト 躰ニツフニ ツ、ニニカクヲト 躰

東方朔

一面 小半尉

- 一着附小捺厚板 前後三
- 一水衣
- 一尉腰帶
- 一尉髮
- 一尉扇

後シテ
一面 大思尉
鼻座
差前尉

- 一着附色子厚板
- 一符衣 白地之符
- 一半切
- 一縹紋腰帶
- 一鳥兜
- 一白岳
- 一白地令入符卷
- 一唐团扇

前連
一放髮

- 一着附龜扇手目
- 一縹水衣
- 一縹腰帶
- 一星倫扇

西之母
一面

- 一着附滿
- 一舞衣
- 一透大口
- 一腰帶
- 一髮
- 一髮帶
- 一尾岳
- 一天符
- 一太刀 力三三三
化糖作心
- 一黑骨江扇
- 一盒桃 色下持

唯子方地謫産付テ一臺臺上ニ耶郭ノ如ク建宮ヲセ
後見二人テ持出地謫ノ方ニ耶郭ノ通リニ置宮ヲ建畢テ
後見ノ者引ト狂言出口明アリ

一シシノセイ高砂同極

但シ
上房トメ千年ノ秋、始テ正面向返シノ謫ハ正
面ハ左右ト出テ是ト云

連
一千年ノ秋ヨリ左トリ箇上例、所へ行見付柱

ノ方向立テ居シテ一月ニ下ニ居

一箇座アリ申連ノ方ニイカニ奏波ト謫

一以方ニ糸ハト成テ其中へ行下ニ居ワキヲ見テ是ニ以

國ト謫 一以程ニ足ノ青鳥ト正面へ 一則和毎

軍へ 一ツリノ掛ニ正面

曲ノ前 曲中 上前 軍向

一今ハツニシト正面へ 一此老公羽カトワキへ

一重テ糸内ト居立テ軍へ 一庭上ヲ立テト正面

向テ左右ニ廻リシテ柱ノキワニ正面へ開

中入ライ席 連入

一間

後
一 出端三段歩テ幕上出舞臺入シテ柱ノ先ニテ用メ

抑是トテ
一 東方解トハ我事ト用
○開カズモ

一 彼枕裏ヲトマキヘ
一 イカニヤイカニト遙ナカラ右廻ル

マウシテおシテ柱ノ際ニテ幕ノ方ヲ見
○シテ柱側へ幕方へ行カレ左ラリテ幕ヲ見ル
サカリハニナリ

左トリ大小おニ正面向床ルニ腰ヲカケル

如王母
一 サカリハ二段歩テ出ル
枕ノ先を並テ取ル
サテ持テ出ルナリ
一 松ニテ

又
サカリハニシニ不思慮ヤ西ノモヨリモト解ニおニ
おテモ亦用

一 ハシリヤウニ衆シテヨリ舞臺入シテ柱ノ先ニテ

足トカ
一 王母庭上ノ返シヨリ正画おニおテ

足トメ
一 彼枕裏ヲトマキト枕ヲ見テワキ前

行下ニ居立舞臺上ニ枕ヲ置
一 帝王威感ヨリ

左右トリシテ左ノ方小彼ノおアメリニテシテ

並ヒテ正面向立テ居ル

一 帝王威感ノト云附キヨリ立坐シ右ノ方ヘトリテお王母ト

並ヒ正面向
一 舞臺ノ細曲ト二人ナカラ正面向用

樂舞

王母
一 初段ノ上扇シテ左右ノマウニシテ左トリ扇

タニミナカラ笛ノ上ニ行目付柱ノ方向床ルニ腰ヲ

カケル

一初段ヨリシテ中ニテ樂舞 樂カクルニ古又ナシ
但違舞ノ樂ナリ

一舞樂モ舞ト左右用^下 一夕陽西ニト方角ヲ見

一各トワキ向カキ王母ト並ヒワキへ用下ニ居立

王母 一舞樂モ舞ノ返シテタリヨリ立前如クシテト

立並ヒ 一夕陽西ニト方角ヲ見 一各トワキ

へ向カキシテト同ニワキへ用下ニ居立

一由暇トト二人ナカラ同極ニ立キヲツキ頭モサケ禮ヲシテ

一歸ラシト起テ正面向 一帝王若殘ヲカシト二人ナ
○重テ各内トワキへ向

カラ又ワキへ向 一宣旨ヲト二人ナカラ又前如ク禮ヲ

シテ 一二人ハ伴ヒト正面向テ立上リ

王母 一二人ハ伴ヒ出ト立右トリ橋カリへ行ナカラ

扇ヲヒロケテ持一ノ松ノアサリテ左ノ袖ヲ返シ

トヲ見テ衆込廻ニツフコユラリト^左袖モトシ

左ノ川サシ扇ヲ幕方へ行 一ヨチホリ

カシ付足トメ返シニ扇カサシ左ノ小ツ廻リ

正面へ打込開右ウケ袖カシニ足出テトス

扇々ニ入トメ踊不踏ニ

一口千連ノ方向イカニ差受テ謡

一此方ノ東久ト受テ謡
一是公國ノ謡ナカラ、ウキヲ見テ、
志中江行下ニ居テテ謡ハ内正ニテテテ
一タリノ板掛ケニ正面向トテ下ニ居

一此老翁カト早へ向 一君唐實をト正而 一御軒命ト
口早へ向 一急キ玉母ヲ伴ヒ上居テ早ヲカト見 一庭上ヲセ
立テト正へ向テ立右廻リシテ柱ノ先ヲ正へ向 中入テテ序

一後出端ニ段受テ幕上出テ松テ正而用テ持是ハト謡

東方朝

東音時

イカニテ

幕方

イカニテ

イカニテ

イカニテ

イカニテ

イカニテ

大社

一面 小半尉

- 一着附^{前後}格士厚板
- 一水衣
- 一白大口
- 一緞子腰帯
- 一尉髪
- 一白骨黒繪扇
- 一杉帯

シテ赤秋帯持テモ
以時ツレ扇

一面 後 大忍尉
梟病
若荷尉

- 一着附^{前後用}
- 一狩衣^{白地}
- 一半切
- 一綾紋腰帯
- 一烏甲
- 一白岳
- 一白地令入袷卷
- 一神扇

一面 前連 放シ髪

- 一着附^{密尉身同}
- 一湯水衣^{肩上}
- 一白大口
- 一收腰帯
- 一墨繪扇
- 一杉帯

一面 天女

- 一着附^箔
- 一長絹
- 一大口
- 一腰帯
- 一髪
- 一髪帯
- 一尾垂
- 一天冠
- 一黒骨丸紅扇

「口千連」方向イカニ巻上テ謡
 一は方へ糸久ト吹テ曲ニ 一是ハは國ノト謡ナカラ、口キヲ見テ
 志中江行下ニ居立テテ謡ハ内正ニ曲ナク
 一クリノ板掛ケニ正面向トテ下ニ居ル

「此老翁」カト口キヘ向 一君唐實をト正面向 一御新命
 口キヘ向 一急キキ母ヲ伴ヒト居立テテ早ヲシカト見 一庭上ヲモ
 立テト正ヘ向テ立右ニ廻リシテ柱ノ先ヲ正ヘ向 中入テテ序

「後出端」段上テ幕上出テ松テ正面向トテ持是ハト謡
 「東方朔」トハト用 扱モ我トモテ口キヘ不向

「イカニヤト謡」ナカラ左ヘトリテ歩行橋掛リ入リテ右ニ廻リ
 幕ノ方ヘ行カリトトクノ系内ヤシト左引テ幕ヲ見ル
 「サカリハ」色ニ曲ニ石思儀ヤ西ノト粹ニ舞臺ニ入笛屋ノ前行
 正面向カケテ向床ルニ腰ヲカケル

「樂替り」丸変ナシ但シ五母ト相澤テお初ルニ三段目ヲ見テ文倉
 入カワリ有ク 一四段目流サス処ツシノ流ラサシテ入カワリ元ノガリニ
 九

「舞樂」モ測ト二人共大左右テ出テ出テ用 一舞樂モ測ト返シニ
 又共正面向左右左右ト出 一夕陽西ト方角ヲ見

「二人」ハ伴ヒト正ニ曲ニテ立上リ 王母ハ橋カリヘ行シテハ曲ニ角行
 テヨト角トリ左ニ廻リ口キ座ノ前ニテ左ヘトリテシテ柱ノ方向サニ
 左ノ袖ヲ巻キ金リトシテ柱ノ先ヘ行左テ豆置返シニ廻リシテ
 正面向袖ヲモトシテ用 一又天上ニツト右ワケ左ノ袖カヘシ豆ヲメテ
 ス工廻袖モトシテ入

右ハ文久元年八月廿日師家整君能之節信良相執
 三子郎清考也ヨリ兼傳之仕舞附也
 王母 梨子
 東方朔 舞臺 新帝 新帝 新帝
 梅 信良記 五

「後」
 一面 大忍尉 一着附 前後用 一狩衣 白地ニ花
 鼻病 一綾紋腰帶 一鳥甲 一白岳
 若荷尉 一白地令入沙卷 一神扇

「前連」
 放シ髪 一着附 花刺身同 一縞水衣 白地ニ花
 一紋腰帶 一墨給扇 一杉幕

「一面」
 天女 一着附 沙泊 一長絹 一大口 一腰帶
 一髪 一髪帯 一尾岳 一天冠
 一黒骨丸紅扇

一 王母ハヨリ左ウケ正面先へ出て左ノ袖ヲ巻盡シ左

キリトシテ柱ノ方向オモ右袖巻シテ柱ノキウへ行

カリ小廻リシテ正面へ袖ヲモトシテ用 一又天上

ニツト左ノ袖返シ右ウケニ足出 踊ニツツミテトメ袖モ

トシテ入 カエリケル

大社

一面 小身尉

- 一 着附 袷子厚板前後 一 水衣肩上 一 白大口
- 一 緞子腰帯 一 尉髪 一 白骨黒繪扇
- 一 杉帯 シテ中 袷帯 持テモ 以時ツレ扇中

一面 後 大忍尉 梟病 若荷尉

- 一 着附 前後用 一 狩衣白地 一 半切
- 一 綾紋腰帯 一 烏甲 一 白岳
- 一 白地令入袷卷 一 神扇

一面 前連 放シ髪

- 一 着附 袷身目 一 縞水衣肩上 一 白大口
- 一 紋腰帯 一 墨繪扇 一 杉帯

一面 天女

- 一 着附 袷 一 長絹 一 大口 一 腰帯
- 一 髪 一 髪帯 一 墨岳 一 天冠
- 一 黒骨丸紅扇

Handwritten notes on the top page, including:

- 一 王母ハヨリ左ウケ正面先へ出て左ノ袖ヲ巻盡シ左
- 一 着附 袷身目 一 縞水衣肩上 一 白大口
- 一 紋腰帯 一 墨繪扇 一 杉帯

龍神
一面 黒髪

- 一着附段厚板
- 一浴被右肩
- 一半切
- 一紋付腰布
- 一赤地金鉢巻
- 一赤頭
- 一龍 同臺
- 一方杖右腰
- 一小龍箱

雜子方地函座付テ後見ニテ一臺呈持出テ後見ニテ
ニテ宮作り物ニ引廻シテカケ持出一臺臺ヲ大小前ニ置
其上正宮作り物ヲオキ後見引

一シンシ一セイ 高砂ノ通り

一カメクニヤヘキ事ハトヨキ函ヲテ見テ 一曼ハハ

アガリニハトヨキハ向 一サハ曼ハト正面

連
一実有種ヤトヨキ

一歩ミヲハコトヨキハ 一月影モトニ足ツル

一神ノ世ヲト正面

連

一宮柱ト切切ニ左トリ笛座ノ上正行正面向カケ

テ向トニ居

一フトシキ立テト右ヲケ 一大和シニ子ト正面向テ出

一勤カ又國ヲト開 一実ヤ紅モト左ニ廻リシテ柱ノ

側ニテ 一里モ冬タツ瓦タト正面へ開返シヨリ

中へ行下ニ居 一委由物語ハト正面向幕

捨扇又キ持 後見出テ水衣ノ肩上名ヲヨス

曲ノ前 曲ノ中 上ノ前 口ヲ向

一 悉ク影向ナリト口ヲ向 一 極々多々ト正面

曲ノトメ 口ヲ向

一 アラフル神達ト口ヲ向 一 十六誰トト立トノ字ニテ立上ル

一 シラユカレト右トリシテ柱ノ前ヘツロキ 一 見ヘツル

口ヲ向 一 神ノツケト出テ開 一 社櫃ニ入

ケリト正面ニ立川返ニ右トリ作り物ノ内へ入

中入ライ序 連立テ入ル

一間

天女

一出場ニ阪守テおつ松ヲ正面ヘ向ト足トメ時急ト高敷

此ニ舞臺へ入シテ柱先ニテ開トメ

一本地十段刺女ト開 一 容顔変舞ノ返

ヨリ正面へ出 一 光モカヤスト開 一 カサシ

モ白フト長袖ノ落ヲトリナカラ右廻リシテ

柱ノ隙ニテ右ヲウケ正面へ開 達舞ニ履ノ

舞ヲフ 舞ノトメ左右キ込開

一 冥類ヒナキト口上リテキ左右開 返シニ正へ出テ開

一 諸神ハ残ラストサシテ左ノ方ヘトリ右へ廻ルヤウニ

見付柱ノ方へ行作物ノ方向右ヲウケ作物ノ方へ

出テ開下ニ居 一 早トク姿ヲ顯シテト作物へ

向見テ 一 夕ノ月モト左扇ヲクニナカラ笛

上地謡ノ方例ノ所へ行正面角カケテ向ト居

一 神解於シト引廻シヨロス

○ 後シテ宮ノ内ニ床机ニ腰カケテ居ル

一 彼マレ人ヲト早ヲ見 一 扱神樂ト正面

一 其外ニテ世界ト作物ノ前ヨリ左右トオリニ足程出

一 諸神ハ度ニトマヘ向 一 元ノト正面 一 返ス

モト正面へ開 達舞シテ樂 達舞ノ樂ニ

一 一 採樂モ今ハト○海ノカサ左右開 返ニ正面へ出 一 シクルノ空

モト開 一 沖ヨリトサシテ右へ廻リ橋カリノ方向右ヲ

ウケシテ柱ノ隙へ行ソメ色ノ扇シテ用幕ヲ見

一 早笛ニナリテ左トリ扇クニナカラ行作物ノ前ヨリ門へ

正面向床ルニ腰カケル

龍神 一 小龍ノ箱ヲ右手ニ持目通りへ上高ッ持ニ

早笛一吸ニテ幕上正面ヲウケ見テ夫ヨリ左ヨリ

走り出フト扱ニテ正面へ開トメ 一 海龍ヲト

開 一 神前ニ捧ト開

一 龍神ハチハチハチ敬シテト踊フニ 返リ左リ舞

臺入 一 潮ヲシリソケト 見付柱ノ前ニテ

出テ開 一 汀ニアカルト左リ作物ヘ向テ行

下ニ居立 一 臺ノ前ニ箱ヲ置テ立

一 神前ヲ舞シト 見付柱ノ方ヘ向テ舞テ返リ

下ニ居立シテヲ見テ面ウハケル

一 其時龍神御箱ノ蓋ヲトキ切ウチニ立箱ノ

側ヘ行下ニ居立蓋ヲ取キテ右ノ方下ニオキ

中ノ龍ヲハ臺ノマ、右蓋ノ上ノセ板夫ヲ則

神前ニト云マテニ一臺ノ前ニ立テ依ヘ置

サケ申ト後ヲ杖ヲヌキ持テ立

一 海陰トモトサシテ右廻リシテ柱ノキワニテ

小廻リ正面ヘ用舞働

舞働ノトメ小廻リシテ返リ舞働返リ正面向

下ニ居立 ヲ杖逆ニツク

一 舞働舞テ後見出小龍ノ箱取入

一 跡ヲ守ルヘシトワキヘ向 一 ヌフシテト正面

天女
一 ヲシテノ數々ト云アリ 五一臺臺ト龍神ト

間ヲ通り橋カリへ行其終幕入

龍神
一 カミアケノオ山ニアカラセ玉ハト云附分五

一 龍神平地ニト右ヲウケテ正面ノ先へ杖ヲ上

ヨリノリ込 躰ニツフミテ起上リト居向フハ外

左ノ膝ヲツキ 左ノ方橋カリノ方 向サマ右ノ膝ヲ

ツキ 左ノ袖返シ 右ノ身ヲ川名終立

サカシノ潮ニヒカレ行ト橋カリへ行幕(走)入

一 サカシノウシホニ引レ行ハト云附分一臺臺前へ左ヨリ

○諸神ハト左ヲウケ込(出)袖巻テモ

扇ヲヒロケ 一 諸神ハ虚をニトサシテ正面へ出左袖

ヲ巻左キリトシテ柱ノ方向サマ右袖ヲ巻シテ柱側

ニテ小廻リ其袖ヲサ込振シテモトシ開左ノ袖返シ

右ヲケニ足ツメ 躰ニツテトメ扇々ミ入

入ニケル
左○

逆鉞

一面

小斗尉

- 一着附小格子厚板
- 一水衣
- 一白大口
- 一尉腰帶
- 一尉髮
- 一尉扇

後一面

小應兒

- 一着附厚板唐織
- 一袴衣
- 一半切
- 一綾紋腰帶
- 一赤地金齊卷
- 一赤頭
- 一唐冠
- 一神扇
- 一鉞持
- 一襟

前連

放髮

- 一着附地刺斗目
- 一綉水衣
- 一白大口
- 一紋背腰帶
- 一玉飾扇
- 一松明持

天女一面

- 一着附滿
- 一長絹
- 一大口
- 一腰帶
- 一髮
- 一髮帶
- 一尾齒
- 一天冠
- 一黑骨瓦紅扇

○後見六ニテ一臺持出跡ヨリ
雜子方地瀧座付石作り物山紅葉ノ造花サシ引廻カケ
先ヲ後見六ニテ持出一臺臺ヲ大小お置其上ニ作物ヲ
置 後見引

一 シシノ一セイ 高砂ノ如シ

連

一 松明ヲフリナカラ出ル 幕ヲ松明ニ程アリ板歩出橋
カリ内見合フル 但露臺ノトキハ松明ヲ交

一 戴ク神ト正面向返シ正へ左右左ト出トスル

連

一 戴ク神ト左トリ松明フリナカラ笛ノ上地瀧あり

例ノ所へ行正面向角カケテ向立テイル

一 以方ノ事ニテハカトワキへ向 一 是ハ所ト正面

一 安間ノ由夏トワキへ 一 故テ糸ヲフスルニテハト右ヲワケ

出左トトリ作物へ向此上ナラク受コソトワキへ向

一 承リ及ト正面 一 中ヲ夏トワキへ 一 一サハト正面

一 委語テトワキへ 一 くりお掛ニ左トリ大小前へ行正

面向テ出立中ニト居

連

一 以時シテト一同ニト居松明ヲト置扇ヌキテ持
後見松明ヲトシ

曲ノ前 曲ノ中 上ノ前 曲ノトメ ワキへ向

一 神ノ祭ハヤメシトワキへ 一 瓶々ト正面向静ニ立

一 鼓モ同シ瀧祭トワキへ 一 神ハ我ナリトニ足ツメ

一 木綿四手ヲト右廻リ作物ノキワテ正へ用返ニ右トリ

作物へ入 中入ライ序 連幕へ入

一間

天女
一出場二股歩テ出テ一松ニテ正面へキト足トメ

燕ニ舞臺へ入右ヲウケ正面一開連幕ニ度ノ

舞必常 舞ノトメ左右開也左トリ

扇ナカラ地謡ノお行正面角カケテ向トニ居

一舞ノキエ頭ヲばテ柀足ハト強おス

一天ノ内舞ハ散シタリト引廻シオロス

○後シテ作物ノ内ニ床ルニ腰カケ舞ヲ右ニ持

一則内舞ヲサシヨシ給ヒノ返ニ右ヲ引舞ヲ元直ニ返

色ニ捧 右ノ石突ノ方ヨリ上
左ノ下ケ舞ノ方ヨリ下ケ 舞ノ身ノ方ヲ下ケ見テ

一青字原ヲト 舞ヲトケ 石突ノ方ヲ右腰ノアキニテテ
左ノ方ハバシ舞ノ柀ヲニキリ

舞先ヲ見テ 一カキワケノト舞ノ舞ニテ左右へ

カキワケルヤウニシテ 一舞ノシタリコリカメハツテト

舞ノ先ヲトヘキメテヨリ見テ 一マツ淡路島ト舞

ヲ右ニカイコミ舞ヲ返ハ舞シテ五一舞其室ノ前へ左ヨリ

オリ 一惣シテハノ國トナツテト正面先ニテ開

一大ヤシマノト右へ廻リシテ柀ノキワテト小廻リ正面向

一 以鉾ノ徳ナリト 鉾ノ先ヲ見テ 一 意有終ヤト 用

舞働 踊フム 中ノ後 小廻リナレニ 正面へ用ク斗 板右廻リシテ柱ヲ小廻

一 アラ^左鶴^ハハト 踊フミ 返ヨリ出角トリ左へ廻リシテ

柱ノ先ニテ右ヲウケ 一 鉾ノ午風ト左ニサシ正先へ

云先へズガリト出 出右ヲフミ^ト 一 引捨ヲケハト左ノ袖返シテ開 ○引捨ヲケハト左ノ袖返シニキキ下ニ居山トナリ又ト立ナカ

一 山トナリヌト 袖ヲテ正へ舞ス 一 足引ノ山トイヒト

踊フミ 一 土ハサナカト右へ廻リ 一 鉾ノ双先ニト

中ニテ 海ニテサシ正へ出開 一 アラ加子ノ吐トイヒ ○平カナルヲ右方大見廻シ

其外ト 踊フミ 一 東為南北ト 神カシ 分シテ右へ廻リ

シテ柱ニテ 一 水鉾ヲモリノクリカラ明玉ト 正面へ開

鉾ヲツキ 一 以宝山ニト 右トリクツロキ洋ヲ後見ニ

渡シ扇ヲヒロケ持左トリ正面向サシテ正面先

へ出キリト廻リサマ正面へ左ノ袖巻又左へキリト

ニハリサマニ右ノ袖ヲ巻シテ柱へ行小廻リ又ノ袖ヲロシ

正へ開左ノ袖返シ右ヲウケニ足出 踊ニツフミテトメ

袖モトシ扇タミ入 神舞ナリ







